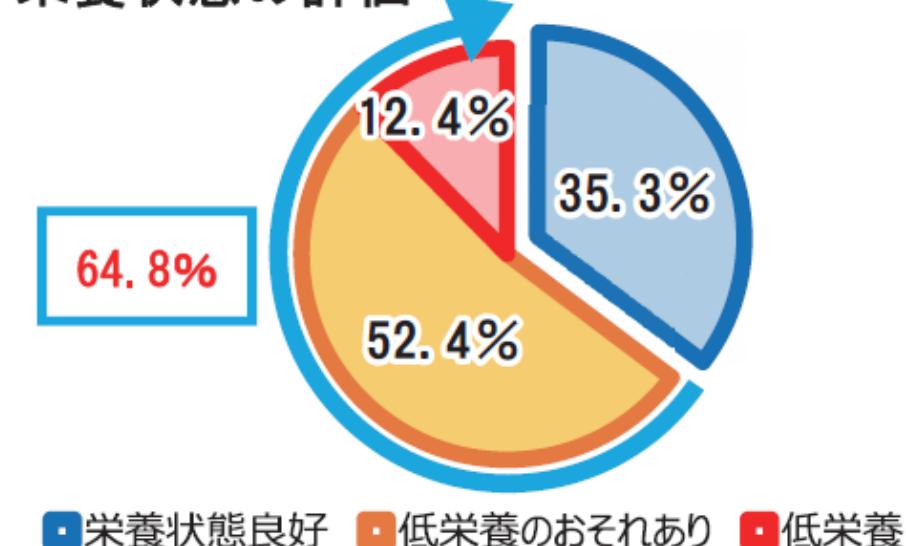


# 新川圏域の在宅要介護高齢者の栄養状態とオーラルフレイルの状況 令和元年10月実施の調査結果より

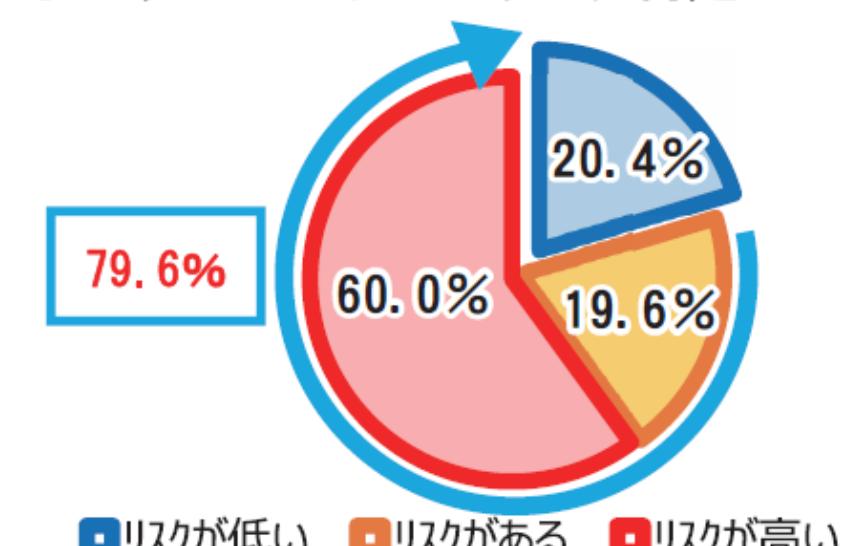
1

## 低栄養のリスク者は約6割、 オーラルフレイルのリスク者は約8割

栄養状態の評価



オーラルフレイルのリスク判定

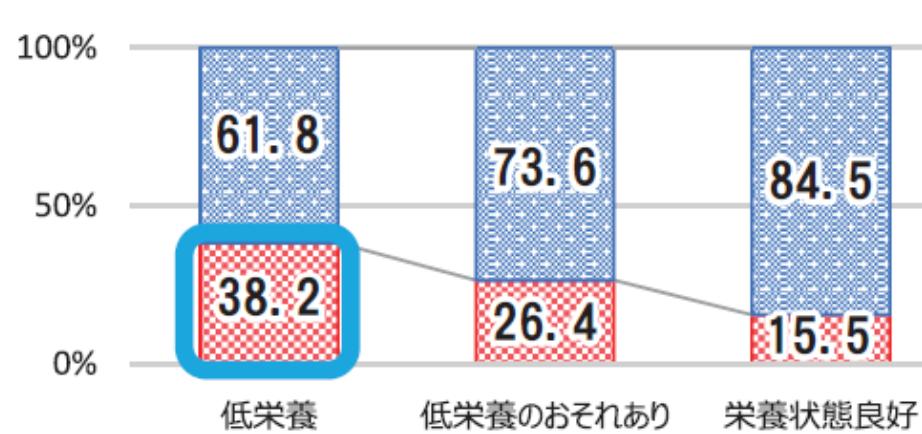


2

## 「固いものが食べにくい」「お茶や汁物でむせる」人は 低栄養群に多かった。

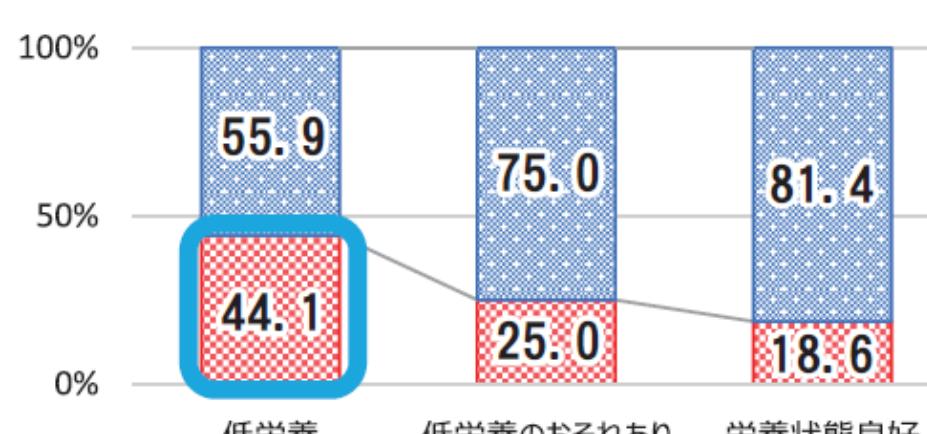
固いものが食べにくくなったか

■はい ■いいえ



お茶や汁物でむせることがあるか

■はい ■いいえ

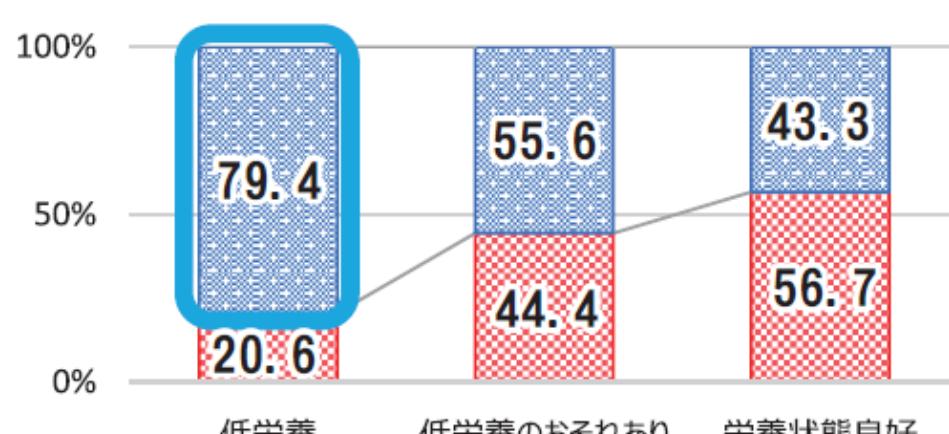


3

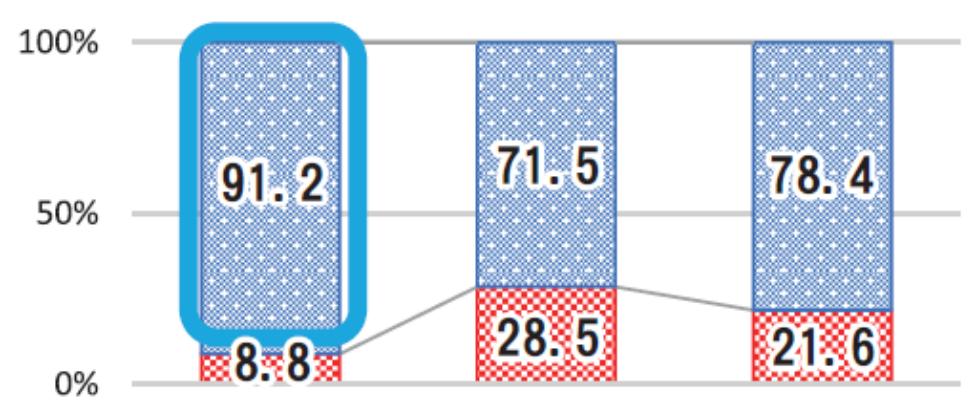
## 「さきいかなどの固さの食べ物を噛めない」 「歯科受診をしていない」人は低栄養群に多かった。

さきいかなどの固さの食べ物を噛めるか ■はい ■いいえ

■はい ■いいえ



1年に1回以上は歯科受診をしているか ■はい ■いいえ



オーラルフレイルを放置すると、栄養状態の悪化や全身の虚弱化につながります。オーラルフレイルの早期発見・重症化予防のため、定期的な歯科受診に努めましょう。